

L端子検出方式への変更



すでに付属の安全センサーケーブルがエンジンスターター本体に接続されている場合は、一旦外してから作業を行って下さい。安全センサーケーブルは、必ず本機に同梱されたものを使用して下さい。他の商品のものを流用することは出来ません。

ステップ 1

車のオルタネーターから出ているL端子線を探します。

L端子線とは、イグニッションONの位置でエンジンが停止している時、約1～3V、エンジンが駆動している時、約12～14Vになる線です。(必ずテスターをご使用下さい。)



ステップ 2

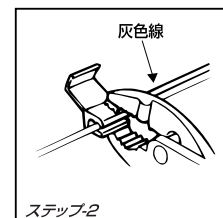
安全センサーケーブルの灰色線を接続します。

安全センサーケーブルの灰色線をグロメット等を利用して、車室内からエンジンルームに引き込み、オルタネーターから出ているL端子線に接続します。(付属のエレクトロタップ使用。)



警告

接触不良が起きないように確実に取り付けて下さい。なお、エレクトロタップは防水のためテーピングして下さい。灰色線がボディの金属部分に触れると、ショートを起こし車両故障の原因となる恐れがあります。

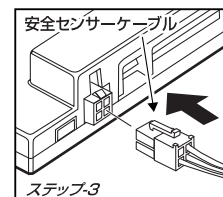


ステップ 3

安全センサーケーブルをエンジンスターター本体のコネクター部(CN2)に接続します。

以上でL端子配線は終了です。

リモコンで問題なくエンジン始動出来ることを確認して下さい。



始動検出方式の切替

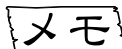
エンジンは始動していないのにメーターパネルが点灯したままになってしまう場合は、「L端子検出方式への変更」を行ってから始動検出方式を特殊モードに切り替えて下さい。お取り付け時(初期状態)は通常モードに設定されています。



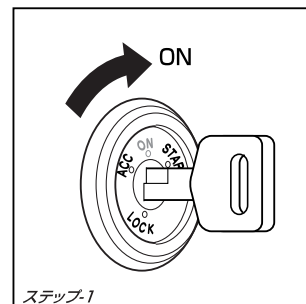
必ず「L端子検出方式への変更」を行ってから変更して下さい。
始動検出方式を、特殊モードへ切り替えた場合は、「キー始動学習機能の設定」を行ってもスターターモーターの駆動時間は学習されません。

ステップ 1

キーをONの位置にします。



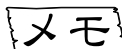
このとき、誤ってエンジンを始動させないで下さい。
以降の操作が出来ません。



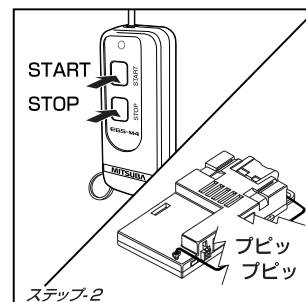
ステップ 2

10秒以内にリモコンのSTARTスイッチとSTOPスイッチを同時に押します。

エンジンスターター本体から「ブピッ ブピッ…」の断続音が鳴ります。



10秒以内に操作が完了しない場合は設定出来ません。
キーをOFFに戻し、ステップ1からやり直して下さい。



次のページに進んで下さい。